

新宮山彦ぐるーぷ第2197回

怒田宿水場の整備と行仙宿巡回整備

◇実施日 8月21日(日) 雨のち曇

◇参加者 梶野照雄、湯川一郎 2名

20日の夕方から雨が降り出し、予報は21日の明け方まで続くようになっていたので、午前10時に白谷トンネル西口に着くように家を出た。前日に湯川君も参加してくれるようになったが、時間を伝え忘れていたため、30分以上も待たせてしまった。白谷トンネル西口に着いた頃には、雨もほぼやみ雨具無しでも歩けるようになった。



白谷トンネル西口



標識を立てる



雑木を伐採

用意してきた「怒田新道」の標識を立てて、付近の雑木を切り、登山口らしくした。標識に「水場まで35分」としたが、35分で着くか自信が無かった。途中で3分ほど休憩して38分ほどで水場に着いたので、ほぼ正確な時間表示であることが判った。



岩でパイプ固定

行仙宿に着く

テープに隙間が

持ってきたパイプを岩の隙間に差し込んでみる。考えていたより隙間は深くてパイプの突き出しが少なく、ペットボトルなどに水を入れるには寸足らずとなった。また、パイプ固定用のアルミアングルは、こちらも少し短く、両側の岩の斜度が違うため取り付けが困難だった。下から岩を積み上げて、差し込んだパイプをどうにか固定したが、もう少し長いパイプに交換して岩に固定する方法を考えたい。

白谷トンネル西口に戻って行仙宿の登山口に向かう。登山口でコンテナボックスの囲いを手直しし、ベンチに座って昼食を摂る。

昼食後、モノレールで行仙宿に向かう。行仙宿に着いて管理棟と倉庫を開ける。小屋の窓は湯川君が全開にしてくれた。



底浚えする

本日の参加者

ハシゴを伸ばして屋根に上り、煙突のシーリング状態を確認する。屋根は乾いていて、滑ることは無かった。シーリングは剥がれておらず無事だった。ただ防水テープの一部が浮き上がって、3ヶ所ほど隙間が出来ていた。耐火シーリング材は十分残っているので、防水テープを剥がして、全体をシーリング材で塞ぐ予定だ。

ハシゴを片付けて水場に降りる。今日は給水可能だと踏んで、7リターのポリタンクをそれぞれ担いで降りた。

予想通り水場の水流は回復、流れは小さな滝になって、きれいな水がオーバーフローしていた。ポリタンクに水を満たしてから底浚えした。ポリタンクを担いで小屋に戻るが、暑さと高い湿度で全身汗びっしょり、35分かかって小屋に戻った。

ポリタンクを降ろし、少し休憩してから下山した。モノレールにシ

ートを被せ終わったら小雨が降り出した。

靴を脱いで靴下を履き替えようとすると、靴下に血痕があった。靴下の上からヒルに血を吸われたようで、足には傷跡があった。

怒田宿水場迄の道中でやられたらしく、血は止まっていた。

腕や首筋には虫除けをスプレーしていたが、うっかり足元のスプレーを忘れていた。

浦向で湯川君と別れ、池原に新しく出来たカフェに立ち寄る。



カフェ南側

アングラーズベース

店内

カフェは南北に入り口があり、南側に小さな駐車場がある。レジは北側にあり、テーブルは北寄りに、南側はショップになっていて、主にバス釣り用の品物が置いてある。

客は私一人だけで、アイスコーヒーを飲みながら若い店員と話をす。大阪から来て下池原に部屋を借りているようだ。営業時間は午後9時までなので、大阪からの通勤はできない。窓からは河原で水遊びをしている子連れの家族が数組見えていた。

(記；梶野)

行動タイム

09：55 白谷トンネル西口→11：04 怒田宿水場 11：15→11：40 白谷
トンネル西口→11：52 補給路登山口→13：24 行仙宿→13：53 水場
→14：40 行仙宿→15：20 補給路登山口